



江城日誌

第十五

西垣文庫 特
文庫 10
7292
15



特 文庫10
7292
15

太政官
刺頒行本



江城

日誌第十五號

五月三十日

慶應四戊辰年五月

○奥州出張長藩より届書之寫

五月廿五日之戰狀

前日より近辺賊兵屯集之由報知有之地理研究
究巡邏旁三藩申合二十人計宛兵隊差出一根
田通り大田川に至り敵兵百計屯集し居候
に付暫時に撃破り村中焼拂歸營に三番隊ハ
別に麻島口より出本沼口に向ふ同所より五
六町手前叢樹の中へ敵兵五六十計潜伏し



不意に左右より撃出せ我兵直ちに散開當戰
二時斗敵兵追々繰出味方勿論巡邏之儀有
二十人余而已つて突入村中之賊を追拂村内
賊屯集り居候民家焼拂鎗其外少々之武器
分取歸營仕候其節弊藩戰死一人手負一人而已
つて賊兵手負死人十五六人の可有之現に殘
置候死骸五ツ御座候以上

戰死 北野武熊

手負 岡 八十吉

同廿六日之戰狀

五字三点頃棚倉道湯本道兩道より賊兵襲來此
頃弊藩棚倉道麻島道兩道と守る二番隊ハ棚
倉口と守り三番隊ハ麻島口と守る二番隊直
様押出し棚倉口と戰ふ同刺麻島口へも敵兵
二手に分ち襲來三番隊是に當る奥州道金正
寺道原街道白坂へも兩道より襲來る八道共
大凡少々の遅速有之同時に襲來る八道共委
激戰炮聲地と裏一万雷の急撃するが如し此時
棚倉口へも賊二々手に分ち一ハ本道より來り
一ハ大沼股より來る賊大炮三門と大沼股と

出烈く炮撃我兵左手より大炮隊を目掛ケ
盛に進撃薩二番隊應援と一より右より出賊
支へ無大炮三门と置て走る又進て小銃隊
當り激戦終一字三點頃賊兵遁走る三番隊ハ
同刺より麻島口の賊に當り盛に奮戦賊二大
隊余来り味方僅八九十人衆寡不敵余程苦戦
相成二番隊に援兵を乞ふ此時二番隊も小勢
を以大勢と引受随分苦戦中の事故差出た兵
員無之虽然実之苦戦に而援兵を乞候事故大
炮隊を出し是を助く十二字頃戦最烈く我

兵最苦戦此時幸に大雨降落我兵本込銃に而
賊ハ口込其外火繩銃杯の事故銃多くハ發せ
た我兵勢を得盛に突入賊兵追々浮足に相成
三字頃二番隊よりも少々兵員差出し終に五
字頃悉賊兵追拂候此時両道共賊死人手負多
人數可有之弊藩即死一人手負四人而已に御
座候

即死 村田麻之助
手負 草薙孫市
同 佐子九郎兵衛

同 吉井榮作
 同 宮五郎
 手負 夫卒 采助

一同廿七日之戰狀

七字一点頃棚倉口麻島口兩道共賊兵襲来二番隊ハ棚倉口ニ而當戰三番隊ハ麻島口ニ出賊兵ニ當リ此時賊兵一大隊計ニ夕手ニ分色襲来士兵一小隊余爲應援来リ戰ふ十二字二三點頃賊兵を追拂ふ此日賊死人手負等少々可有之現ニ殘一置候死骸三ツ棚倉口へも一大隊計

襲来候得共暫時ニ追拂候弊藩手負死人等無之候此日金正寺口一字頃より八字頃迄頗る激戰薩土大垣當之

一同廿八日之戰狀

六字四點頃棚倉麻島兩道共賊兵襲来此日棚倉口最烈一前々日より連日之戰より少々疲居本隊操出とと少く遅一介候隊是ニ當リ頗る苦戰無間本隊操出一十一字二三點頃賊兵悉く追拂ひ進で新合度村を燒賊死骸多と殘一置き走る我兵帰營也一字頃又々敵兵

襲来暫時斥候隊を以て當之本隊操出—暫く
戦ひ終つ追拂四字頃帰營を八字頃又々賊兵
襲来本隊繰出—暫時追拂此日一昼夜も七
棚倉口三戦—随分激戦麻島口へも三度襲
来本隊三度繰出—戦争を棚倉口ニ比し
大に輕し

一 忍藩二小队弊藩兵隊同行初戦岩井以来
弊藩人數同様毎戦出張戦争致し候

同廿九日

夜十字頭斥候隊見張所へ賊兵少々突来り手

負二人有之

手負 矢野助七

同 佐々木正三郎

一同晦日

夜中麻島口見張所先へ少々賊兵来り篝火の
番兵と襲ふ即時追拂ふ

一 六月朔日

前夜篝火の番兵と襲ひしを愠り三番隊二十
人巡邏と根田村迄至る正に進んで泉田
至んとし賊往還左右に炮臺を築き備へ居候

舟候の者一兩人と遣一候処賊小勢の様相見候故二十人申合せ進で炮臺前に至り戦ふ賊不計大勢来り四方より迫る我兵頗る苦戦勿論巡邏の事故正に引取んとする時薩士大垣の兵隊少々宛来り合せ又々替り合ひ戦候得共賊兵大勢之事故引揚帰營仕候此日賊死人多分有るべく弊藩死人一人手負二人之御座候

手負 山縣省三
同 福島一松

松田清藏

右器械掛りの者故遅刻戦地

出候処本隊と行違ひ交々戦死

仕候哉今以帰營不仕候

手負 夫卒 一人

一六月十二日之戦状

三字三点項棚倉口之當り一声の号炮を發せ

勿論未明の事故舟候差出候処敵兵弥襲来の

由報知直様本隊繰り出ま此項麻島口ハ薩

藩多勢の事故彼藩之譲り弊藩棚倉口一道を

引受戦頗る烈し須更こして麻島口奥州口
金正寺口湯本口原口白坂合せて七道より賊
大挙襲来棚倉口へ賊二大隊余三手二分を
一の山上より一の本道一の大沼原より来る
我兵忍藩申合せ五六手二分を或の溪間或の
樵道或の本道或の叢樹の中を潜り一の前より
砲撃し一の背面より砲撃を賊周章狼狽大砲
一門小銃十五六挺死骸ハツ手負一人と残り
置き敗走を我兵頗る勝とて呼び進で大砲
小銃と分取り手負一人と斬首し無疵の一賊

と擒こし益進を戦ふ賊遁走恰も蜘蛛子の散乱
まろグ如し十二字四点凱陣也

手負 溝部千吉

右先月廿五日より今十二日迄之戦状御届
上候 長藩

- 榑崎頼三
- 口羽兵部
- 梨羽戈吉
- 原田良八

○

官版

不許翻刻

御用御書物所

東洞院三條上町

村上勘兵衛

堀川二條下町

井上治兵衛

